

平成30年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 スポーツ柔整学科・柔道整復学科

平成30年度学校関係者評価委員

■保護者

スポーツ柔整学科1年 青木絢聖 保護者

■企業関係者

立志道接骨院 院長 井谷陽介

■他校関係者

常葉大学 健康プロデュース学部 上村英記

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	B
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	B
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に昨年より評価が落ちている。理念や目標の浸透を教育上大切なものとする意識を持って改善に努めていく必要がある。		
【改善のための方策】		
学科会議を増やし情報共有をし、組織目標や教育理念等の確認をしていく。また学生にはホームルーム等の時間を設け学生クレドを浸透させていく。		
【関係者評価】		
特になし。		

2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	B
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	B
9	組織内の連携は適切に図られているか。	B
10	上司の指示は適切にされているか	B
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	B
13	BSCは適切に活用されているか。	B
【現状の問題点】		

全体的に評価が落ちている。特に上司の指示の適切さの評価が低くなってしまった。また、BSC活用も他科より低いので改善案を話合いたい。

【改善のための方策】

学科間の意識疎通を図るために会議を増やしていく。報連相を徹底していく。

【関係者評価】

特になし。

3. 教育活動

【自己評価結果】

【自己評価結果】		平均
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	B
14	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
15	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
16	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
17	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	B
18	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	B
19	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	B
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	B
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	B

【現状の問題点】

全体的に評価が落ちている。新しい学科となって出発しているところであるので、一つ一つの項目について全員で改善あたるような意識統一がまず必要と思われる。

【改善のための方策】

各教員間で業務分担を行い、各項目が改善できるようにしていく。
教職員で指導が統一できるように徹底していく。

【関係者評価】

特になし。

4. 学修成果

【自己評価結果】

【自己評価結果】		平均
25	就職率の向上が図られているか	A
26	退学率の低減が図られているか	C

【現状の問題点】

退学率の低減について他科と比較するとかなり評価が低い。他科の活動を参考にしていくなど対策を立てていく必要がある。

【改善のための方策】	
学生が無断欠席等したらすぐに連絡をし、また学生面談を密に行うことで退学率の低減を図っていく。また学生との交流を増やすため校内の見回り等も行っていく。	
【関係者評価】	
特になし。	
5. 学生生活支援	
【自己評価結果】	平均
27	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。 B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。 B
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。 B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。 A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。 A
【現状の問題点】	
それほど悪い項目はないが、より一層の改善ができるようにしていきたい。	
【改善のための方策】	
やはり教職員間の情報共有ができていない部分があるため、会議を増やし情報共有、報連相を行っていく。	
【関係者評価】	
特になし。	

6. 教育環境	
【自己評価結果】	平均
32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか A
【現状の問題点】	
計画的に予算化して整備していきたい。	
【改善のための方策】	
来年度も計画的に必要な備品等を購入していきたい。	
【関係者評価】	
特になし。	

7. 学生の受け入れ募集

【自己評価結果】		平均
33	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法，時期は適切か。	B
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	B
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	B
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	C

【現状の問題点】

全体的に昨年度よりもかなり評価が低くなっており全科でも一番評価が低い。学生募集は重要なことであるので、どうすれば良いかをよく検討し、改善していく必要がある。

【改善のための方策】

学科の広報担当を中心に具体的な解決策を提案し、またSWOT分析を使用しながら本校の強みや弱みを再確認しながら、来年度の広報活動を工夫し行っていく。

【関係者評価】

特になし。

8. 財務

【自己評価結果】		平均
37	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
38	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	B

【現状の問題点】

毎年の経過でより充実した予算作成をする必要がある。節約も大切なのでメリハリのある収支計画としていきたい。

【改善のための方策】

会議で必要なものを確認し、計画的に予算管理していく。

【関係者評価】

特になし。

9. 法令等の遵守

【自己評価結果】		平均
39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	B
41	個人情報保護法を遵守しているか。	B
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B

【現状の問題点】

個人情報保護委員会やハラスメント委員会に科の問題点をあげて意見を求めるなど、評価の高い科を参考にしていると思われる。

【改善のための方策】

会議で個人情報やハラスメントの内容を検討していくことで改善を図っていく。

【関係者評価】

特になし。